

1ターンの

岩手県→東京都→むつ市

室館 七恵さん
relax salon natully
(エステサロン)
2021年3月創業



Case 08

「誰かのために」という 思いがあれば伝わる。

結婚を機にむつ市へ移住した室館さん。2人の子どもを育てながら、東京のエステサロンで磨いた腕を活かし自宅で創業。SNS や口コミでファンを増やしている。

エステサロンを開業

むつ市の自宅でエステサロンの営む室館七恵さん。専門学校の食物栄養科を卒業し、栄養士として食事指導を行いながら美容の道へと転身した。東京・銀座の大手エステサロンで経験を積み、2013年、結婚を機にむつ市に移住。むつ市でもリラクゼーションサロンに勤めた。室館さんが創業を考えるようになったのは、創業した女性たちの講演やオンラインセミナーに参加するようになってからという。「以前は自分に自信が持てませんでした。そんな自分でも創業することができたのだから、気持ち

とやる気次第で誰でもできます」当初、親族から理解を得ることに苦勞し、女性向けサービスだから夫の協力も難しいところがあった。2人の子育てをしながら自宅で創業することには不安も大きかったが、創業をサポートしてくれるインキュベーション・マネジャー (IM) とのつながりを持てたことで、創業の準備が楽になったと振り返る。2020年12月、勤めていたリラクゼーションサロンを退職し、夫と2人で自宅の一部をDIYで改装。念願の自宅エステサロンは形になる。「自然体で美しく」また、自分自身もそうでありたいと思いを込めて、店名を「natully

(ナチュリー)」と名付けた。集客は SNS を活用 サロンのある自宅は、市街地でありながら通りから一本入った静かな環境。駐車場も確保できて立地としては好条件だった。宣伝活動はどのように行ったのか。「力を入れたのは SNS。ホームページも用意したが、9割はインスタグラム。私の顧客は20代から40代の女性で、ちょうどインスタグラムのメインユーザー層と同じなので」オープン予定日の2カ月前からアカウントを作り、インスタグラムを1日1回は投稿すると決めた。目立つ派手な画像より、自



自宅の一室を夫婦2人で改装。落ち着いたインテリアで居心地のよい空間に仕上げた。義父と夫、子どもたちにも支えられ、今の仕事を続けることができていると感謝する室館さん

分が理想とする店のイメージが伝わるように、落ち着いた雰囲気の投稿を心がけた。「インスタグラムは効果がありました。むつ市では女性向けの美容情報が手に入りやすく、皆情報を求めているのだと思います」誰かのためにという思いがあれば伝わる、と室館さん。



relax salon natully
<https://natully.info/>

街を元気にしたい

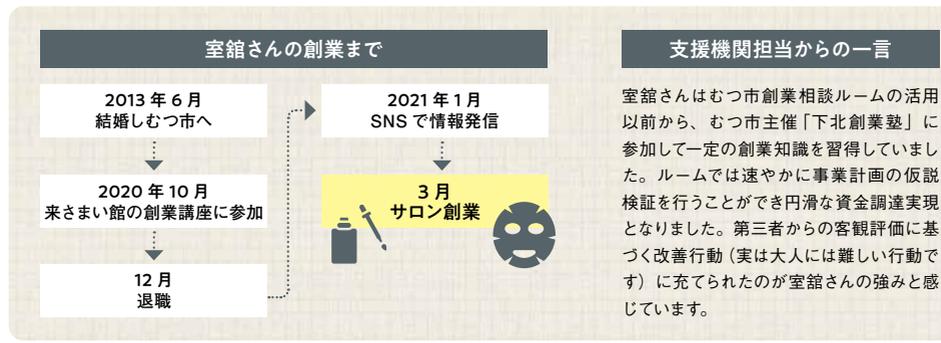
創業を果たし、経営者として羽ばたきはじめて室館さん。今度は地域を元気にしたいと活発に動きまわっている。「創業しよう」と考えるようになった自身の経験を多くの人にも感じてほしいと有識者の講演会を主催したり、室館さん自らが創業の実体験を話したりする機会を持つようになった。「私が創業した際、先輩たちの話を聞いたことがたいへん役に立ったので、同じことを伝えていきたい。街が元気になるれば人も元気になる。私というより『誰かのために』という思いは必ず伝わります」



創業を可能にした気持ち



くわしくは動画をチェック!!



支援機関担当からの一言 室館さんはむつ市創業相談ルームの活用以前から、むつ市主催「下北創業塾」に参加して一定の創業知識を習得していました。ルームでは速やかに事業計画の仮説検証を行うことができ円滑な資金調達実現となりました。第三者からの客観評価に基づく改善行動(実は大人には難しい行動です)に充てられたのが室館さんの強みと感じています。